

シルバーあみ

第179号 令和6年1月25日発行

公益社団法人阿見町シルバー人材センター
広報委員会

住所 〒300-0331

稲敷郡阿見町阿見4671-1

TEL 029(888)2036

FAX 029(840)2486

URL (ホームページ) <https://webc.sjc.ne.jp/ami/>

会員数 320名(12月31日現在)

男 227名 女 93名

安全就業スローガン

- ・慣れた作業に落とし穴 初心に帰って再確認
- ・大丈夫? 作業後の見直し 再確認を



年頭のご挨拶

理事長 千景 繁

会員の皆様、明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年10月末、町の人口はついに5万人を達成しました。今後もさらに増加が見込まれ、令和7年実施の国勢調査で5万人を超えていけば、市制施行への人口要件を満たすこととなります。しっかりと準備を進めてまいります。4月からスタートする第7次総合計画では、「みんなで作る共生のまち」を基本理念に、「地域力が強く誰もが幸せに暮らせるまち」を将来像として位置付け、5万人都市にふさわしいまちづくりとして、「子育て」、「暮らし」、「誇り・愛着」という3つのテーマを設定しました。子育てでは若者・子育て世代に選ばれる5万人都市、暮らしでは、暮らし続けることのできる持続可能な都市、誇り・愛着では人とまちへの愛着が育つことを目指して、町民の皆様と町が手を取り合って、市政への道を歩んでいけるよう努めてまいります。今後も、町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、スピード感をもって行政運営に取り組むとともに、「未来に責任を持てる魅力あるまちづくり」のため、誠心誠意、努力してまいります。結びに、皆様におかれましては、健康に留意され、新しい年が皆様にとって実りある素晴らしい年になることをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年 阿見町新春賀詞交歓会について

○新年を祝う阿見町新春賀詞交歓会が1月12日、阿見ゴルフクラブにおいて実行委員会主催で開かれ、各界の代表約150名（当センター松本副理事長、小野寺常務理事）が参加し、交流を深めました。

会の冒頭で元日に発災した能登半島地震の犠牲者に全員で黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りしました。千葉繁町長の主催者代表挨拶では、市制施行に向け、組織改革と人材育成に全力を注ぎ必要な準備を進めていくとの決意が述べられました。



鑑開き

来賓では、葉梨康弘衆院議員、葉梨衛県議、平岡博町議会議長が祝辞を述べられた後、二所ノ関親方や来賓も加わって鏡開きを行い、あみ大使ノブ&フッキーがものまねを披露し、和やかな雰囲気の中、町の飛躍を誓いました。



賀詞交歓会歓談風景

辰年生まれの女性会員を代表して



今年、辰年の年女として、目標を立てました。

- 1つ目は、趣味の花を、種から作る。
- 2つ目は、畑での野菜づくりをする。
- 3つ目は、友達との温泉旅行を楽しむ。

目標達成のために、健康に気を付け、笑顔で頑張っていきたいと思っています。

今年も皆さんにとって、より良い年でありますように祈っています。

会員 Y・O

辰年生まれの男性会員を代表して

私は、昭和27年生まれの「年男」です。

「年男」を代表しまして、ご挨拶申し上げます。

私の前職は、東京消防庁で42年間勤務し、その半数以上がレスキュー隊の仕事でした。そこでは「訓練に終わりなし!」と上官から叱咤激励され、「安全」「確実」「迅速」をモットーに日々訓練に励んでいました。

「だれからも信用・信頼される植木職人を目指して」を仕事に対する目標にしております。

私は植木班の仕事をするようになってから、まだ1年足らずですが、現職務で感じていることを素直に述べたいと思います。それは、レスキュー隊での考え方や優先事項が、植木班の仕事にもそのまま当てはまるのではないかと考えています。植木職人として技術を上達させるには、常に探求心をもって知識・技術を磨く必要があります。ここまでやればいいというゴールはありません。また、仕事をするうえで一番大事なことは、「怪我をしないこと」いわゆる「安全」だと思っています。諸先輩方から技術のことに關しては、手取り足取り教わっており、



そのお陰で入会当初よりも、若干は技術が向上したかなと自己評価しています。

私は、健康管理には特段の注意を払い、誰からも信用・信頼される植木職人を目指して今年1年頑張りたいと考えています。結びに、皆様にとって素晴らしい一年でありますよう、ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。 会員 前田 明人

さわやかフェア 2023



販売風景



PR活動

○10月22日（日）に、さわやかセンター、同広場等において、「さわやかフェア 2023」が4年ぶりに開催されました。阿見町商工会「あみ商工まつり」、県立医療大学「創療祭」と同時開催され、大勢の来場者で賑わいました。

当人材センターも会場の一角に展示ブースを設け、ブース内では、パネル展示による事業紹介、草人形の出展、陶器の販売を行いました。又、県シ連の職員3名の方の応援を受け、チラシ（PR紙）を配布し、普及啓発活動を行いました。

女性役員による会員拡大推進大会

○令和5年11月7日（火）セキショウ・ウェルビーイング福祉会館において、女性役員による会員拡大推進大会が、開催されました。

（1）先進地事例発表

- ① 女性委員会の意欲的な取り組みについて～
会員数増加日本一（会員数1,000人未満SC
／令和3年度実績）

・講師：鶴ヶ島市シルバー人材センター
女性委員会委員長 駒形理事

（2）質疑・意見交換会

- ① 鶴ヶ島市SCの講師並びに事務局担当職員
と連合会女性役員による会員拡大推進プロジェクトチームメンバーによる意見交換等
当シルバー人材センターから役員・事務局計4名が出席しました。



チャリティーゴルフ大会

○令和5年11月9日(木) 県連合会チャリティーゴルフ大会が、水戸レイクスカントリークラブにて開催されました。



当シルバー人材センターからは会員4名が参加、活躍し優秀な成績をおさめました。

優勝 宇津会員、

第3位 大崎会員、

ベスグロ賞 宇津会員、飛び賞 齋藤会員、

ニアピン賞 宇津会員・芹田会員、ドラコン賞 齋藤会員

理事会

○令和5年11月28日(火)令和5年度第4回理事会が開催され、次の議案が審議承認されました。

①正会員入会の承認について

②規則等の改定について

安全委員会

○令和5年12月8日(金)安全就業パトロールを実施しました。

今回は、植木の手入れ作業3か所、草刈り作業1か所、南平台の植栽管理2か所、合計6か所の作業内容について、作業時の服装及び作業状況の確認を、行いました。

その後、協議・意見交換があり、指摘事項としては、

- ・安全帽（ヘルメット）は機械使用時だけでなく集草作業時でも着用する。
 - ・剪定電動工具の新型用具が次々と出回り、使用する会員が多くなりつつあり作業効率が上がる分、危険も増すので安全面に細心の注意を払うことが必要。
- 以上となりました。



安全就業パトロール

ボランティア委員会

○令和5年10月30日(月)予科練平和記念館の美化活動（ゴミ拾い、除草、清掃など）を行いました。

午前8時～約1時間実施、45名が参加しました。

今後は、2月に植木班による中央緑地の作業、3月に霞ヶ浦湖畔の清掃作業を予定しています。

参加ご協力をよろしくお願いいたします。

○令和6年1月22日(月)皆様からの善意の使用済み切手を社会福祉協議会へ届けました。
同事務局長より、謝辞をいただきました。



予科練平和記念館の美化活動

事務局

○「配分金支払証明書」は、昨年1年間に就業して得た配分金に関するもので、確定申告に必要な書類です。該当する会員は確定申告を必ず行って下さい。(8ページ参照)

○「県シ連だより」令和6年1月発行が届いています。まだ手に取っていらっしゃらない方は、事務局にありますので、お寄せください。

○接遇マナー講習会の開催について

接遇マナー講習会を、3月11日(月)に開催を予定しております。後日案内状を、配布いたしますので、予定の程、よろしくお願ひいたします。

時間帯は、午前10:00~12:00、午後1:30~3:30、人数は、午前30名、午後30名の予定です。

造園技能検定

二級技能検定合格者

○植木の手入れの仕事が忙しい中、仕事の合間を縫って、自己研鑽に励み、二級造園技能士の試験に合格されました。

これで、植木班は、一級造園技能士1名、二級造園技能士12名となりました。



前田 明人 会員

●新しい会員の紹介(令和5年10月1日~12月31日) 5名

会員番号	氏名	行政区	会員番号	氏名	行政区
1697	関口 富美子	二区南	1700	酒寄 幸雄	二区南
1698	加藤 美代子	筑見	1701	羽成 政喜	筑見
1699	有泉 由紀江	大形			



「凍てつく」袋田の滝にて

日本三名瀑の一つに数えられる「袋田の滝」。

滝の流れが大岩壁を四段に落下することから、別名「四度(よど)の滝」とも呼ばれています。

厳しい寒さが続くと、滝全体が真っ白に凍結した氷瀑を見ることができます。

高さ120メートル、幅73メートルの巨大な滝が凍りつく、まるで時間が止まったかのような光景に息をのむことでしょう。滝の青さが寒さを感じさせます。

昔は、全面凍結で、ロッククライミングをする姿を見ることがありましたが、近頃、温暖化の影響で全面凍結するのを見ることは、無くなりました。

場所 茨城県久慈郡大子町袋田

会員の広場 《ふるさと自慢》

私の仕事は、南平台地内の公園の除草収集業務と、かすみ公民館での夜間受付業務を行っています。

平成5年に赤い糸に結ばれた妻と結婚して阿見に引っ越して来ました。旧姓は金敷(かなしき)で、常陸国真壁郡金敷村(現桜川市)がルーツです。



3年前にシルバー会員になりました。年齢は66歳で会員の中では5本の指に入る若輩者です。公民館では先輩会員の方々から暖かいご指導を戴いております。

さて、私のふるすとは、茨城県新治郡千代田村下稲吉です。地理的には常磐線神立駅の付近で30数年間暮らしたふるさとの自慢をしたいと思います。

ここは帆引き船の発祥の地です。帆引き船は明治13年に考案され、長くわかさぎ漁に使用されてきましたが、昭和40年頃からトロール船に取って代わられ



帆引き船

姿を消しました。しかし昭和46年に観光帆引き船として復活され、例年7月下旬から11月下旬までの日曜日に出漁しています。



富士見塚古墳

富士見塚古墳は、6世紀初めの築造と推定される前方後円墳で、墳丘の全長は78mと県内有数の規模を誇ります。全国的に珍しい鹿や犬、円筒埴輪、家形埴輪などが出土、麓の展示館で見ることができます。標高35mの墳頂からは霞ヶ浦大橋が一望できます。

また、冬の晴れた日には、名称の如く遠く富士山をも望むことができます。

市内にはイチゴ、ブルーベリー、ナシ、カキ、ブドウ等、果樹園が多数存在していて、亡父の実家でも果樹園も行っていました。

役場時代には、福祉業務以外の全ての業務を行いました。が、「かすみがうら市歴史博物館」の館長の時の経験が強く心に残っています。

昭和62年に出島村郷土資料館としてオープンした、お城のような外観をした博物館です。霞ヶ浦漁業で使われていた漁船の模型や道具をはじめ、農具や生活道具などの民俗資料や地域の歴史に関する考古資料やパネルの展示を行っています。

4階には展望台も設置されています。人事異動の時は仲間から「出島城のお殿様になったね」と、よく言われたものでした。

さて、平成23年3月11日14時46分に発生した東日本大震災では、この出島城も震度5強の揺れに襲われました。激しい揺れで城中がギシギシと音をたて、今にも崩れ落ちるのではないかとの恐怖にかられました。そして天守閣の鯨(シャチホコ)一基が轟音とともに落下してしまっただけです。鯨とは城の天守や櫓などの屋根に使われる装飾の一つです。鯨は想像上の生き物で、頭は龍虎、胴体は魚、空に向かってそり返る尾を持っています。鯨は建物が火事になると口から水を吐きだして消してくれるという伝説があることから、屋根の上に乗せられ、鬼瓦と同様に守り神として大切にされてきました。



かすみがうら市歴史博物館

原形をとどめない程に破損した鯨が、空堀の中に散乱していました。「鯨がわが身を砕いて守ってくれたんだ」との思いからか涙があふれ出ました。私は涙腺がユルイのです。

その後、被災状況の把握と、震災に伴う補助金を申請したり、工事を発注したりと復旧にあたりました。その中でも鯨の復元には思い入れが強かったです。鯨は常滑の工房で製造された特注の陶器でした。工房で長い時間をかけて制作・焼成した後、漆を塗って金箔を張って鯨がよみがえりました。今も天守閣でお城はもちろん、私達を守ってくれています。

私は、モータースポーツの F1 が好きです。故アイルトン・セナや野田樹潤のファンです。スポーツブランドが好きです。愛読書は「人はなぜ他人をゆるせないのか」(中野信子)、「なぜかうまくいく気遣い 100 の習慣」(藤本梨恵子)です。いつも手元に置いて読み返しています。

「一秒懸命」「九転十起」「笑るほど頭を垂れる稲穂かな」をモットーにして、老害に注意しながら地域のボランティア活動にもいそしんでいる今日この頃です。

会員 和田 哲男

一口メモ

昨秋、那須山系の朝日岳で 60～70 歳代、4 名の登山者が低体温症で亡くなりました。

登山は平地を歩くのとは違い、次にどこに足を置くか考えるため、脳トレによいそうで、最近ではシニアの登山者も多く見かけます。

しかし、少しの油断で事故にあっては元も子もないので、どんなに簡単と思える山でも、万全な準備が必要です。雨具はもちろんのこと防寒具や行動食も忘れないようにします。某山小屋の主人によると、行動食には『ゴマせんべい』がおすすめです。

また、一般的に言われている言葉ではありますが、『勇気ある撤退』も重要であると思います。

では、「ちょっと山にでも行ってみようか？」と思った初心者の方々に、手頃な山をご紹介します。土浦市の『小町山』 標高 361m 低山ではありますが、景色がよく、山頂は広場になっていてテーブルとベンチがあり、ゆっくりと食事をすることもできます。

登山口は『小町の館』から、主なコースは二つ。一つは『天の川沢コース』川沿いに小さな滝を見ながら歩くことができます。もう一つは『尾根コース』一合目ごとに 18 歳と 81 歳を比較したダジャレがあり、思わず笑ってしまいました。例えば「恋に溺れるのが 18 歳、風呂で溺れるのが 81 歳。」「心がもろいのが 18 歳、骨がもろいのが 81 歳。」(十八歳と八十一歳の違いより) などなど。

所要時間は敢えて書きませんが、自分のペースで、楽しみながら、山歩きをしてみませんか。

広報委員 赤木 裕子



小町山

※阿見町シルバー人材センターのホームページにアクセスするには、パソコンからは、「<https://webc.sjc.ne.jp/ami/>」です。スマホからは、右のQRコードを、読み取りご利用ください。



シルバー人材センターで得た配分金収入等に対する所得税の取り扱いについて

- ◎ 2020年より給与所得控除、基礎控除が変わりました。
- ◎ 配分金収入は、所得税法上『雑所得』に区分されます。雑所得の金額は、原則として雑所得の総収入金額から必要経費を控除した額です。従って、配分金収入に係る必要経費の額は55万円以上ある場合、配分金収入から必要経費の全額を控除とします。
- ◎ 必要経費の額が55万円に満たない場合は、『租税特別措置法』第27条（家内労働者等の事業所得等の所得計算の特例）の適用により、55万円を上限として控除できます。ただし、収入金額が限度になります。
- ◎ 公的年金を受給している会員は、配分金収入とは別に公的年金等控除を行えます。
- ◎ 給与収入のある会員は、最低55万円（ただし収入金額を限度とします）の給与所得控除が受けられますが、その場合、配分金収入に係る控除額は55万円から給与所得を控除した残額が限度です。

必要経費の額が55万円未満の場合の例示

【設例】 あるセンター会員（66歳）の年間収入は次のようなものでした。

- ① 配分金収入 52万円（うち交通費等の必要経費10万円）
- ② 給与収入 40万円（労働者派遣事業及び職業紹介事業による賃金）
- ③ 公的年金収入 150万円

1 配分金収入及び給与収入に係る所得の控除

（最低保証必要経費） （給与所得控除額） （雑所得（配分金所得）分の最低保証必要経費）
550,000円 - 400,000円 = 150,000円

（最低保証必要経費の残額） （配分金収入） （雑所得（配分金所得）分の特例経費）
150,000円 < 520,000円 = 150,000円 → 最低保証必要経費の残額で頭打ち

従って、この場合、520,000円 - 150,000円 = 370,000円 が控除後の所得となります。

2 公的年金収入に係る雑所得の控除

1,500,000円 × 100% - 1,100,000円 = 400,000円

割合や控除額については、「公的年金等に係る雑所得の速算表」（税務署にあります）から算出してください。（年齢・収入金額により異なります）

従って、この場合、400,000円が控除後の所得となります。

3 基礎控除及び納税額

配分金収入、給与収入、公的年金収入に係る所得控除後の所得合計額

A + B = 770,000円

（基礎控除）

770,000円 - 480,000円 = 290,000円 [課税所得額]

[課税所得額] [税率] [確定申告による納税額]

290,000円 × 5% = 14,500円

既に源泉徴収された所得税額が納税額を上回る場合は、確定申告で税が還付されます。

なお、電子申告される場合並びに配分金収入、給与収入、公的年金収入以外の収入がある場合の所得控除及びその他の控除については、最寄の税務署にお尋ねください。

竜ヶ崎税務署

住所 竜ヶ崎市川原代町1182-5

電話番号 0297-66-1303